



きぼう

令和8年2月2日 八尾市立東本小学校

【めざす子ども像】

知・徳・体の調和のとれた児童

- ・**ひ**とをたいせつにする子
- ・**が**んばる子
- ・**し**ょうらいに夢をもつ子



ピンクシャツデー

校長 玉置 奈津子

2月。まだまだ寒い日が多いですが、休み時間には、運動場でドッチボールやサッカー、なわとびをして元気に遊ぶ子どもたち姿が見られます。

本校では、日々の授業や学校行事等を通して、自分や友だちのよさに気付き、互いを認め合おうとする心を育てています。この心の豊かさが、「安全で安心できる場としての東山本小」「いじめをしない・許さない東山本小」につながると考えています。

「いじめ」は絶対に許されません。教職員による日々の声掛けや生活アンケートなどを実施し、子どもたちのいじめ防止に向けた意識が高まるように日々取り組んでいます。

2月25日は、ピンクシャツデーです。ピンクシャツデーは、カナダで「いじめ反対運動」として始まりました。八尾市でも、多くの学校が「いじめ防止・いじめ反対」のピンクシャツデーに取り組んでいます。東山本小学校でも児童会を中心として2月24日、25日にピンクシャツデーに取り組みます。

自分に何ができるか、自分は何をすべきかをよく考え、「いじめは許されない」「いじめの加害者にも被害者にも、そして傍観者にもなってはいけない」という意識をしっかりと持ってほしいと思います。

今後も保護者や地域の皆さんと連携しながら子どもたちの安全・安心を守っていきたく思います。ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

【お願い】

児童の安全のため、来校時には、**保護者証の着用**をお願いします。

また、インターホンや職員室へ来ていただき、ご用件を伝えてください。

2 月 行 事 予 定 (2026)

日	曜日	行事	保健行事
1	日		
2	月	(全)避難訓練(10:30~) (3.5)放課後学習	
3	火	(5.6)授業参観・学級懇談会 (集会)運動 (体)なわとび週間(20分休み)(~13日) (給食)ペロリ貯金 (~13日(金))	
4	水	(4.5.6)クラブ(3)クラブ見学 (1~3)おはなし会	
5	木	(4.6)放課後学習 (6)助産師さん講演会(2h)	
6	金	(予備)(全)避難訓練(10:30~) (3)親子交流(6H)(体育館)	
7	土		
8	日		
9	月		
10	火	(5.6)委員会 (集会)なし	(2~6抽出)色覚検査(2・3H)(図工室)
11	水	建国記念の日	
12	木		
13	金		
14	土	八尾市なわとび名人検定	
15	日		
16	月		
17	火	(集会)放送	(6)薬物乱用防止教室(3H)
18	水	(新1)小学校一斉授業見学(体験)	
19	木	(1.3)授業参観・学級懇談会	
20	金	(6)お別れ遠足	
21	土		
22	日		
23	月	天皇誕生日	
24	火	(2.4)授業参観・学級懇談会 (小中)ピンクシャツデー (集会)放送	
25	水	(4.5.6年)クラブ最終(※クラブ見学予備) (小中)ピンクシャツデー(1~3)おはなし会	
26	木	(全)算数チャレンジデー(朝学)	
27	金		
28	土		

人権集会

1月27日（火）に「人権集会」を行いました。

「人権」とは、

「人が人として、自由に考え、自由に行動し、幸福に暮らせる権利」です。

「すべての人が、生まれながらにもっている権利」です。

今年度の学校のテーマである「国際理解」について学んできたことを、各学年ごとに発表しました。ここで、児童が感じたことをいくつか紹介します。

・ぼくは、6年生の発表がいろいろな国でこまっているところや日本とちがって食べ物を好きなだけ食べられなかったり、住むところがなくてごみのところに住んでいる人のことをしらべていてすごいと思いました。ぼくは食べ物をすきなだけ食べられない人や住むところがなくてこまっている人が少しでもへるよう自分ができることがあればやっていきたいと思いました。

・ぼくは、6年生の発表で6年生が言っていたぼ金をしようと思いました。理由は、世界にはゴミの山でゴミを捨てて生活している人もいると聞いて、僕だったらありえないと思ったからです。ほかにもご飯を十分に食べられない人や、寝るところがない人もいて、かわいそうだな、助けてあげたいなと思い、自分ができることはいっぱいしてあげたいなと思って、ぼ金をしようと思いました。

・日本とはちがってたべかたやきゅうきょくの中で、いろいろちがうことがありました。おなじところもあれば、ちがうところもありました。

・日本は電気があって当たり前だけど、電気がなくてろうそくをつけている子どももいるから、その国に日本から電気をおくれたら国どうしがなかよくなるのかなぁと思いました。9人に1人がごはんをたべれなくておなかがすいて、ほねも見えてきている子がいるから、大人になったら、ごはんをとどけられるようにするしごとを作れるようになりたいです。

・わたしがこの子どもたちのように過ごしていたらおそらくたえられません。だから少しでも幸せにするためにユニセフ募金をしたいと思いました。この6年間で国際問題や幸せに暮らせない人たちのことを知って少しでも幸せになる方法はないのかと悩んでいたけれど、いま自分ができるところをする。それをすることで貧しい人たちが笑顔になるかもしれません。そうするために毎日、努力したりすることが大事だと6年間学んでいました。